



# 285系サンライズエクスプレス

18期 H、H

## 全室個室寝台のJR形寝台特急



左 ななつ星  
右 サンライズエクスプレス

○所属 JR東海、JR西日本

○登場年 1998年

○制御方式 VVVF インバータ制御

○車内設備 ラウンジ 自動販売機

シャワー A・B寝台 ノビノビ座席

- 国鉄581系・583系以来、34年ぶりの寝台電車で、サンライズエクスプレスの愛称があります。基本設計は剣持勇デザイン研究所、内装は住宅メーカーのミサワホームが担当しました。JR西日本とJR東海が共同開発を行った車両で航空機や高速バスなどの競合交通機関と差別化を図るために、魅力ある移動環境を提供することを重視しました。そのため、7両編成の中でモーターのある3・5・10・12号車以外は2階建て構造となっています。
- 外装は従来の寝台列車に使用されていた青形をやめ、朝日をイメージしたベージュと赤の組み合わせに金のラインが入るカラーリングになっています。
- JR西日本所属が0番台JR東日本所属が3000番台となっています。両者の違いは、照明等微々たるもので、共通でサンライズ「出雲・瀬戸」運用されJR東海所属の編成も車両管理はJR西日本になっています。

# 車両紹介



↑クハネ285-1、285-3001



↑モハネ285-201、285-3201



↑モハネ285-1、285-3001



↑サハネ285-1、285-3001



↑サロハネ285-1、285-3001



↑サハネ285-201、285-3201

←クハネ285-2、285-3002

KATOサンライズエクスプレス7両セット